

Taylor Morrison の沿革

Taylor Morrison は、Taylor Woodrow と Morrison Homes が 2007 年 7 月に合併して設立された。同社はアリゾナ州、カリフォルニア州、コロラド州、ジョージア州、フロリダ州、イリノイ州、ノースカロライナ州、サウスカロライナ州、テキサス州で中堅・上級の住宅だけでなく、1次取得者の中規模の住宅も建てている。

沿 革

Taylor Woodrow は 1921 年に Frank Taylor と Jack Woodrow によって英国で設立された。彼らはイングランド北西部のランカシャー、ブラックプールのセントラルドライブ 347 と 349 で、奥ゆかしい 2 棟続き戸建住宅を建てた。1920 年代の間、テイラーの新会社は、ランカシャー地域で低価格で質の高い住宅を提供することに集中した。1930 年代、Taylor Woodrow は多角化し、仮設病院などを建設し、総合建設業に移った。1936 年、Taylor Woodrow は Monarch Development Corporation を買収し、カナダの建設市場に参入した。

Monarch Development Corporation は 1917 年に設立された、カナダで最も古く、最も大きく多角的な不動産会社のひとつであった。1953 年、同社は、トロント地区に土地、アパート複合施設、店舗、住宅を所有する、新たに設立された Monarch Mortgage and Investments Limited の支配的持分の株式を購入し、1994 年には高層建築部門に参入した。1945 年から 2001 年の間、Taylor Woodrow の主な事業は総合建設業であり、Taylor Woodrow Homes はグループのほんの一部であった。

Morrison Homes は 1905 年に C.G. Morrison.によってシアトルに設立され、1946 年にカリフォルニア北部に移住した。同社は主に初の中規模の住宅地をフェニックス、サクラメント、デンバー、フォートマイヤーズ、ジャクソンビル、オーランド、サラソタ、タンパ、オースティン、ヒューストンなどを建設した。サンフランシスコを拠点としていたとき、George Wimpey Plc は、1984 年 Morrison Homes を買収した。George Wimpey が 2001 年に Richardson Homes 買収した後に、Morrison ブランドに統合された。

2007 年 7 月 6 日、Morrison Homes Inc. の英国に本拠を置く親会社と Taylor Woodrow Inc.が企業合併した。Taylor Woodrow Plc と George Wimpey Plc.は、新しい会社、Taylor Wimpey Plc. を設立し、世界最大の住宅建築会社の 1 つになった。Morrison Homes は、親会社の設立の一環として Taylor Woodrow と一緒になった。同社は、新しい Taylor Morrison ブランドのもとで営業を開始した 2008 年まで、既存のブランドのもとで営業を続けた。

2011年7月、Taylor Morrisonは、TMG Holdings Limited Partnershipの完全子会社となり、TPG Capital、Oaktree Capital Management、JH Investmentsが別途管理する投資ファンドによって間接的に所有されている。2013年に株式公開された。

